

## 【バイノーラル】

イチヤラブ健診！後輩ナースにいっぱい採られて

脚本 小桜びび

発売 RADIO ERO

## 【登場人物】

向あかり（22）

健診センターの看護師。主人公の高校の後輩

## トラック1 密着！ 身体計測

### ◆健診センター（身体計測をする部屋）

あかり 「受付番号二十五番の方ですね」

あかり 「あれえ？」

あかり 「やっぱ、先輩だ！ 名前でひよつとしたらと思ったけど……。向あかりって覚えてないですか？ テニス部で一年後輩だった……」

あかり 「高校卒業以来ですよね！ ふふ、美人ナースになってたから、わからなかったかなあ？」

あかり 「やーん、偶然だとしてもほんと、うれしい！ 今日のは張り切ってお仕事しちゃいますっ」

あかり 「まず、身長から測りますね。靴を脱いで、台に乗ってください」

あかり 「先輩、背が高くて、見えないなあ……。ちよつと、椅子に座りますね」

あかり 「んしょっ！ ふふっ、先輩を見下ろすの初めて」

あかり 「よしよし」

あかり 「先輩の頭撫でる機会なんてないから貴重です。ふふっ」

あかり 「ねえ、先輩、覚えてますう？ 褒めるとき、あたしの頭、ナデナデしてくれましたよね」

あかり 「練習中は厳しいところもあったけどお。上手にできたらちゃんと褒めてくれて……」

あかり 「ふふっ。がんばつてるとこ、ちゃんと見てくれてたんですね。ナデナデされるの、すっごくうれしかったんですよね？  
だからあ……ナデナデのお返しですう」

あかり 「ふふ、先輩の耳、こんなに近くで見るの、初めて。おいしそう」

あかり 「んー、おいしい……。やわらかくてマシユマロみたい」

あかり 「耳の中もおいしそう……。ちゅっ、ちゅる……。ふふっ、先輩、今ぴくつとしました？」

あかり 「うふふ、……かわいい」

あかり 「さあて、と。ちゃんと仕事もしくちやね。ええと……（メモをする）」

あかり 「ん、しょつと。はい、次は体重です。今度はこっちに乗ってください」

あかり 「はい、OKです。」

あかり 「あれえ？ 去年より増えてます。ちゃんと栄養管理してますか。  
おなかでちやつてたりして。ふふ、見せてくださいっ」

あかり 「うふふ、たくましい腹筋ですね。これなら大丈夫！  
じゃあ、このまま腹部まわりを測ります。少しズボンをずらしてください」

あかり 「もうちよつと下かな……。あれ、違うな……。ちよつと下着下ろしますね」

あかり 「ん、この辺……つと。……あ……」

あかり 「パンツ下げすぎて、先っぽ見えちゃった」

あかり 「うふふ、ついでに……おちんちんもはかっちゃいましょうか！」

あかり 「ちよつとくらい遊んでください、先輩。一日中、検査したら息が詰まっちゃいます。ね、お願い」

あかり 「先輩、優しいから可愛い後輩の頼み、聞いてくれますよね。ふふつ。では、下を全部脱いで、座高計に座ってください」

あかり 「リラックスしてくださいね。まずは、茎ま・わ・り」

あかり 「ふふ、太くて立派ですね。色も健康的！ では、長さも測りましょう」

あかり 「わ、長い！ おつきくなったたら子宮まで届きそう……」

あかり 「まだ、終わってませんよ。次は最大サイズを測ります。勃起してください♡」

あかり 「血圧だって最低と最高を測るでしょ？ さ、大きくしましょ。ふふつ。どうやったら、先輩の……大きくなるのかな？」

あかり 「じゃあ……まず、竿を上下にこすこすしてみますね」

あかり 「うふふ、大きなあれ、大きなあれ……こすこす、こすこす」

あかり 「うわぁ……。先輩のおちんちん、どんどん上、向いていくう」

あかり 「まだ、おつきくなりますよね？ どんどんどんどん大きなあれ。

あ、先っぽが濡れてきた。竿にも塗り付けちゃえ。」

あかり 「ぬりぬり……ぬりぬり。ふふ、オイルマッサージみたい。おちんぽエステってここかな？」

あかり 「ふふつ、このくらいがマックスかなあ？　じゃあ、そろそろ……

先輩のおちんちん……あかりのおまんこで測らせてください」

あかり 「あん、パンツびしょびしよで、なかなか脱げない……。んしょ」

あかり 「はい、完成しましたあ！　おちんぼ測定器です」

あかり 「ふふ、四つん這いだと、あかりの濡れ濡れまんこ……よく見えるでしょ？  
ここはあ……ただいま先輩専用のおちんぼ測定器となっております。  
もつと、よく見えるように広げますね……」

あかり 「さあ先輩……後ろから測定対象のおちんちん、入れてください……っ」

あかり 「あ、あ……ん……っ、すごい、太いのずぶずぶ入ってくるう……っ」

あかり 「動かないで……っ。先輩の……おちんぼを……中で測定しますう」

あかり 「ああんっ、ダメえ、おつきくしたら、サイズわかんない……っ」

あかり 「次はあ……長さ測るから、奥まで……突いてください……」

あかり 「ああん……そのまま……奥にいて……。先輩のおちんぼ、長くて太くて……っ。  
やん……っ、すごい……あかりの子宮まで届いちゃう」

あかり 「あ……っ……。もつと、奥があるのお……っ？　……あん……っ。  
気持ちよくて……測定不能ですう……っ」

あかり 「ああ……っ。おまんこ汁いっぱい出てきて……溶けちゃいますう……。  
もつ、動いてください……っ。あかりのおまんこ、ぐちゃぐちゃに  
かき回して、中出ししてえ……っ」

あかり 「……っ、先輩のおちんぽ、すごおい……っ……」

あかり 「や……あん！ そんなに激しくしちゃ、すぐイッちやう……っ」

あかり 「また、おつきくなったあ……っ！ 先輩のマックスってまだなの？」

あかり 「やんっ、すぐ出したら嫌ですう……っ。もつと、ゆっくりあかりのおまんこを  
味わってください……」

あかり 「ん……っ……ぐりぐり、いいですう……。カリがいいとこ、  
いっぱい当たるの……っ。浅いところ、好き……っ」

あかり 「あ……奥にきたあ……っ。あん……っ、エッチな音すごおい……」

あかり 「やん……っ、おまんこ泡立ってるよお……っ」

あかり 「ああん！ そんなにぐちゅぐちゅされたら、あかりのおまんこ  
壊れちやう……っ」

あかり 「やんっ、やめないでえ……っ、もつと激しくて大丈夫だからあ……っ」

あかり 「……あ……っ。奥……気持ちよすぎて、ダメえ……っ」

あかり 「……っ。はあ……んっ……ひあ……」

あかり 「先輩も、もう……イキそう……っ？ 一緒に……」

あかり 「あかりの子宮に、いっぱい先輩のザーメンかけてください……っ」

あかり 「イッちやう……あ、あ、あ……っ」

あかり 「あああ——ん……っ」

あかり 「はあっ、はあっ」

あかり 「やんっ」

あかり 「もう、抜いちやうんですかあ？もうちよつと余韻ほしいなあ……」

あかり 「でも、お仕事ですもんね。さ、記録……あ、先輩のザーメン、おまんこからもれてきちゃった……」

あかり 「あ、じゃあ……」

あかり 「先輩のは、長くて太くて一杯精液が出る、優良おちんちん……」

あかり 「なーんてね。ふふっ。ほんとに書いてないですってば。さあてと。

次はX線検査です。一度出て、呼ばれたら部屋に入ってくださいね」

## トラック2 中身を拝見します 胸部X線検査

### ◆健診センター（胸部X線検査をする部屋）

あかり 「ふふつ、こっちの部屋にもいて、びっくりしました？

今日は、先輩の担当をすることになりましたあ。よろしくお願いします」

あかり 「でも、ごめんなさい。技師が遅れてるの」

あかり 「だから、準備して、少し待っててください」

あかり 「まずは……シャツ、脱がなきゃですね」

あかり 「あかりにボタン、はずさせてください……」

あかり 「ん……できた。シャツ、脱がしますね」

あかり 「こうして脱がしていると、奥さんみたいでうれしいなつ。ふふつ。

アンダーシャツも脱いでくださいね。ばんざーいして？」

あかり 「では、機械の前に立ってください。高さを調節します」

あかり 「ふふつ、低いけど、今はこれくらいでいいんです」

あかり 「じゃあ、腰を落として、機械にしっかり密着してください」

あかり 「んー。もつと、ぴとつ、とくつついてください。機械が冷たいかな。

じゃあ……こうして」

あかり 「あかりがあ……背中をあったためてあげる♡」



あかり 「ふふ、おっぱいが気になる?」

あかり 「さつき、ブラジャー取っちゃった。これで前ボタンを外したら……」

あかり 「ふふ、わかる? あかりのナマおっぱいですよ?」

あかり 「機械の高さ、低くてちょうどいいでしょ?

おっぱいが先輩の背中にあたる高さなの……。ぐにぐに動かすと……」

あかり 「ああん……。肩甲骨が乳首に当たって……。感じちゃう……」

あかり 「おっぱいマッサージ、気持ちいい?」

あかり 「やん、あたしの方が気持ちよくなっちゃいそうです……。乳首、膨らんできちゃった……」

あかり 「ねえ、先輩……。あたし今、パンツはいてないんです……。白衣の下は生まれたままの姿なの……」

あかり 「振り向いちやだめですよ。手は腰に当ててくださいね」

あかり 「ぜーったいに動いたら、ダメですよ?」

あかり 「ちゅば……。つ、ちゅ、ちゅ……。やっぱり先輩の耳、いい形……」

あかり 「動いたらダメですつてばあ……。放射線は危ないんですよ? でもお……。右耳は敏感なのわかつちやいました。ふふつ。じゃあ……。左耳はどうか」

あかり 「ちゅるつ、ちゅ、ちゅぱつ……。こつちもよさそうです。はあはあ言ってますよ? ふふつ。じゃあ、今度は……」

あかり

「んふっ……耳の中も好きですかあ？

ふふ、ビクビクしてる……。

先輩、ほんと耳弱いんですね……」

### トラック3 しっかり見てて！ 視力検査

#### ◆健診センター（視力検査をする部屋）

あかり 「ふう。ちよつと、見えにくくなってきたかな。機械から目を離して、休憩しましょうか」

あかり 「あたしも座って休憩しちゃう」

あかり 「のんびりしていいですよ。高校の先輩だから、いっぱい話すかもって主任に頼んだの。実は……好きな人ですって、言っちゃった、えへ……」

あかり 「あ、高校のときの話ですよ？ でも、久しぶりに会えたらやっぱり嬉しい…。ふふつ。なんか、恥ずかしくなってきた。変なの」

あかり 「今日のもつと、恥ずかしいことしてるのに……」

あかり 「ふふつ。さあてと。視力検査もかねて、気分転換にクイズでもしよっかな」

あかり 「さあ、あかりのナマおっぱい……よく見てください。ホクロ、何個あるでしょうか」

あかり 「触っていいですから、確かめてください。まずは、おっぱいの谷間に隠れそうなどこ…」

あかり 「ふふ、どうですか？ そのまま胸、むにと広げて」

あかり 「んっ……乳輪のとこ見つけました？ じゃあ、ちゃんと確かめて？」

あかり 「これは視力検査です。だから、しっかり見てください」

あかり 「ふふ、あかりのふわふわおっぱい……触ったら変わるんですよ？」

あかり 「あん……むにゅむにゅしたらあ……乳首ふくらんじやいましたあ……」

あかり 「やん……っ、いきなり乳首つまんだら、ダメエ……ッ」

あかり 「そんなにいじったらエッチな色になっちゃう……っ」

あかり 「ああん……、くにくにされるの好きい……」

あかり 「もう……っ。こんなことしてたら……ホクロの数、わかんないよお？  
そうだ。あたしも数えちゃおっかな」

あかり 「ふふっ。どこにしよう。見えにくいところ……。太ももがいいかなあ？」

あかり 「じゃあ……ズボン、脱いでください」

あかり 「内もも……あ、ひとつ見つけましたよ？ 右足の真ん中……。それから、  
もうひとつ。足の上の方……。付け根のあたりはどうか……」

あかり 「付け根にもひとつ見つけた……。ふふ。もつと、隠れてるところにもあるんじゃないかなあ……。おちんちん、持ち上げないとわかんないことか」

あかり 「ふふっ、持ち上げなくても、上向いてるじゃないですかあ。  
あかりのおっぱい、触りながらこんなにしてたんですか？」

あかり 「先輩、かわいい。おちんぼ、なでなでしちゃう。」

あかり 「よしよし、いい子」

あかり 「いやーん、反り返っちゃった。あ……うふふっ、パンツに染みができてますう。  
さっきいっぱい出したばかりなのに……」

あかり 「撫でたらじゅわーって広がってきますね……。

なんだかパンツの中で苦しそう……。ふふ、出してあげますね」

あかり 「んふ。身体測定するときより、大きく見える。気のせいかなあ」

あかり 「目分量じゃわからないから……おまんこで確かめなきゃ」

あかり 「先輩におっぱい触ってもらったから、もう、準備できてるの……。

このまま乗っちゃうね」

あかり 「……っ。ああん……ぬるぬるですう……。先輩のおちんぼじゅぶじゅぶ入ってくるう……」

あかり 「すごおい……こんなに、大きかったっけ……？ まだ、入っちゃう……」

あかり 「……っ……ダメエツ！ 動いたら、サイズわかんないよう……っ」

あかり 「あん、もうっ。あせらないでくださいってばあ。今日のあかりは……先輩の担当なんです。おまんこも、おっぱいも……ゆーっくり味わう時間はありますからあ……」

あかり 「でもお……一応これは、視力検査の続きですからあ……おっぱい、触ったらどうなるか……見てね」

あかり 「ああんっ、乳首いきなりぺろぺろしちゃうのお……っ。あ……反対の乳首もくにくにされたら……おまんこ、きゅんきゅんしちゃいます……」

あかり 「……乳首……もつといやらしくふくらんできましたあ……。先輩のつばでぬらぬらしてます……。それからあ……」

あかり 「ほら、先輩とつながっていると、見てください……」

あかり 「うふふ……濡れ濡れですう……。広げるから、もつと見て……」

あかり 「……っ。先輩のみつちり入ってるから……そんなに広がらないけど……」

あかり 「赤くて、ぬらぬらしてますね……。ふふ、いやらしいですう……」

あかり 「じゃあ、今度はあたしが動くから、見ててくださいね……」

あかり 「……っ……。はう……っ……。やっぱり先輩のおちんぼ、深くまで入りますう……っ」

あかり 「……っ……ああ……んっ……気持ちいい……」

あかり 「先輩……しっかり見てますか……？ あたしの中、先輩の形に広がったり縮まつたり……っ、してますよお……、あ、あ、あんっ……」

あかり 「……あん！ クリ、ダメエ……っ」

あかり 「気持ちよすぎてダメなお……っ。あんっ……ふくらんでるう……。もつと見て……いやらしいとっ、いっぱい……」

あかり 「ああんっ、クリ、引っ張り出しちゃうのっ……？ びしよびしよですごくエッチ……ッ……」

あかり 「……っ。急にそんな……突き上げられたら……っ」

あかり 「あ、あ、あ、あんっ……はあ……っ……先輩……もう、見てる余裕……ない……ですね……っ。でも、あかりのいやらしい顔は……見てください……っ」

あかり 「あんっ……、乱暴なおちんぼ、好き……っ……。奥、いっぱい突いてえ……っ」

あかり 「ちゅ、じゅるっ……んん……ふ……っ……。はあ……っ、あ、あ……んっ」

あかり 「先輩……いまの……キス……ッ。どういう……」

あかり 「あふ……っ……はあ……っ」

あかり 「先輩と……初めてのキス……」

あかり 「あんっ……激し……っ。あ、あ、あっ……先輩……もう、いつちやうっ……」

あかり 「先輩も……イキそうですね……っ……でも……っ、お願い……キスしながら  
イキたいですう……」

あかり 「じゅる、ちゅ、んふ……っ……んん——っ………」

あかり 「んふ、あ、あ——っ」

あかり 「はあっ、はあっ……」

あかり 「ねえ、先輩……」

あかり 「あかりのイキ顔、しっかり目に焼き付けました……？ ふふ……っ」

あかり 「あたしは先輩のイク顔、好き……」

あかり 「抜きたくないけど……っ」

あかり 「まだ、検査は続くから」

あかり 「次は心電図です」

あかり

「ああ、でも……先輩のキス……びっくり……。あたしが不整脈起こしそうでしたあ……」



## トラック4 ドキドキしてるよ？ 心電図

### ◆健診センター（心電図をとる部屋）

あかり 「力抜いて、リラックスしててくださいね」

あかり 「はい……いいですよ。お疲れさまです。電極をとるので、そのままお待ちください」

あかり 「これで全部はずれましたね」

あかり 「あ、まだ起き上がらないでください」

あかり 「ふふ、まだ、終わってないですよ。今のは安静時の心電図。不整脈とか、心臓の筋肉の動きを調べたの」

あかり 「でも、今から調べるのは……」

あかり 「安静じゃないときの状態を調べます、ふふっ」

あかり 「まず、胸に耳をつけて、直接鼓動を聞きます」

あかり 「ん……ちよつと速いですね」

あかり 「でも、まだ安静の範囲内です。それでは、乳首をなめてみましょう」

あかり 「んふっ……ぺろぺろ……ちゅ、ちゅ……、じゅるっ……  
うふふ、立ってききましたけど、感じてるってほどじゃないかなあ？  
じゃあ、同時に反対の左の乳首を指でくにくにしたら……」

あかり 「あ、ビクッとしましたね。胸の鼓動は、と……」

あかり 「さつきより速いですよ？ 男の人でも、乳首感じちゃうんですね」

あかり 「でも、もつと……ドキドキしないとダメです……」

あかり 「でもお……今日はいっぱい出しましたし……。疲れちゃったかな？  
じゃあ、先輩は……ただ、リラックスしていてください」

あかり 「横になっているだけで、何もなくていいです。勃起したら  
抜いてあげますし。しないなら、それでかまいません」

あかり 「ちゅ、ちゅっ、じゅるっ……ずっと興奮しているのも、疲れますよね。  
んふ……っ」

あかり 「あかりが……じゅるっ、先輩をドキドキさせるつもりでしたけど……。  
横になって、ゆっくりしましょう」

あかり 「ふふ、先輩が、耳舐め好きなのわかったから……。たーっぷりなめて  
あげますっ」

あかり 「ん……反対も、可愛がつてあげなきゃ……」

あかり 「ちゅ、んふっ……じゅる……。乳首もたっぷりいじってあげますね……。  
つまんでえ……。くりくりっ……。って、ふふっ」

あかり 「ん……。っ……。乳首、さつきよりぷっくりふくらんでいます……。  
くりくりすると気持ちいいですっ……」

あかり 「先輩……。ビクビクしてる……。また、興奮してきちゃったのかなあ？」

あかり 「鼓動の音は、と」

あかり 「ふふ、明らかに安静時と違いますう」

あかり 「おちんちは……半勃ちつてところでしょうか？」

あかり 「いいんですよ？ フル勃起しなくても。

ただ、あかりがこうして先輩と過ごしたいただけなんですから」

あかり 「だって……ここに先輩がいることが奇跡ですもん。でも、検査が終わったら……」

あかり 「ううん、いまはこうして先輩を見ているだけで幸せです。  
勃起しなくていいから、触らせてくださいね」

あかり 「やわらかいおちんちんを入れるのは無理だけど、こうして」

あかり 「腰、前後に振ってえ、おちんぽとおまんこをコスコスするだけでも……  
ああん……気持ちいいですう……」

あかり 「は……う……っ、クリトリスが先輩の先っぽに当たるの……いい……っ」

あかり 「や、あ……んっ……クリとおまんこが一緒にこすれて……  
たまらないよ……。ああん……おまんこ汁で、先輩のおちんぽ、  
びしょびしょですう……」

あかり 「あん……先輩の硬くなってきたあ……」

あかり 「先輩も気持ちよくなってきたの？ ふふ、うれしいですう」

あかり 「あん、ビンビンのおちんぽ、先っぽが入っちゃう……っ」

あかり 「ねえ……先輩……全部入れたいですう……」

あかり 「先輩のおつきいおちんぽで、中こすらせて……あ……入っちゃ……」

あかり 「あ、あ……っ……すごいい……。あかりのおまんこ、

先輩の形覚えちゃってる……。勝手にぐぶぐぶ入っていくの……」

あかり 「あん……奥まで入っちゃいましたあ……」

あかり 「ふふ、先輩のおちんちん……大好きい……」

あかり 「もちろん、おちんちんだけじゃないですよお？

でもお……あんまり言って困らせたくないもん……」

あかり 「いまは……頭からっぽにして、あかりのおまんこでドキドキしてください」

あかり 「先輩は動かなくていいですからね……。あたしが、ぜんぶしてあげる……」

あかり 「鼓動のチェックもしなきゃ……」

あかり 「ふふ、ドキドキも速くなってますね。動きと連動してるのかなあ……」

あかり 「先輩の乳首、コリコリ。ふふ、なめなめしたくなっちゃう……」

あかり 「ちゅ、じゅるっ……じゅっ……おいしいですう……上のお口も……

下のお口も先輩をたっぷり味わえるなんてえ……」

あかり 「先輩……おちんぽ、感じてますかあ？ あかりのいいところばっか、  
当ててるからあ……」

あかり 「ふふ、先輩の大好きな耳舐めも一緒にしますね」

あかり 「ちゅるっ……じゅっ……ん……っ、ねえ、先輩……さつき……キス……  
してくれたじゃないですかあ……」

あかり 「ちゅば……、ちゅ、あれ、うれしかったです」

あかり 「なんかあ……キスって特別な気がするの……。だから、まさか先輩からしてくれるなんて……。今度はあかりから、させてね」

あかり 「んふう……っ……ちゅ、ちゅ……」

あかり 「先輩のつば……どうしてこんなにおいしいのお……。もつと、ちょうだい……っ」

あかり 「ん、ん、んふっ……はあっ……じゅるっ」

あかり 「キスしてると、おまんこからじゅわじゅわエッチなお汁があふれて  
きちゃった……先輩、感じる？」

あかり 「あんっ、も……我慢できないい……腰、動いて止まらないよお……。  
先輩のせいで、あかりエッチになっちゃったあ……っ」

あかり 「もつと奥がいいのお……っ」

あかり 「ああん……っ、イキそうだけど……っ、もどかしいの……なんでっ」

あかり 「やあん……っ。先輩が突くと、深いところに入っちゃう……っ」

あかり 「ああんっ……そこ、いい……っ。いっぱい突いてえ……」

あかり 「ああんっ、子宮に響いて……っ……、あかり、おかしくなっちゃう……っ」

あかり 「あ、あ、あ……んっ……なんか、くるよお……っ」

あかり 「ああ………っ」

あかり 「先輩、精液出てる……っ、奥、びゆるびゆる感じるよおっ……  
も、ダメ、イッちやう……」

あかり 「あ——っ」

あかり 「あ、あん……っ」

あかり 「はあっ、はあっ……」

あかり 「おまんこから白いの、いっぱい溢れてる……」

あかり 「まだ、イけますね。ふふ」

あかり 「さあ、次は血圧検査です。ちょっと休んでから測りましょうね。  
高血圧の結果が出そうですから。ふふっ」

## トラック5 キツめに絞めちゃう♪ 血圧測定

### ◆健診センター（血圧をとる部屋）

あかり 「んー……上がちょっと高めだけど、血圧は正常の範囲内ですね。  
お疲れさまでした。圧迫帯、とりますね」

あかり 「血圧は毎日変わるから、あまり気にしないでいいですよ。  
でも、塩分を控えたりして、普段の食生活に気を付けてくださいね」

あかり 「でも、栄養状態を、簡単にチェックする方法があります」

あかり 「しかも結果は今すぐわかります。やってみましょうか」

あかり 「じゃあまず……おちんちんを出してください♡」

あかり 「ふふ、精液の味で、食べたものがわかるんですよ」

あかり 「んふふ、ふにゃちんも、かわいい♡」

あかり 「先輩……今日いろいろしたけど、フェラチオはしてないの気づいてますっ？

あたし、楽しみはとっておくタイプなんです。ふふっ。

まず、どこからせめよっかな……。裏筋、かな」

あかり 「んふ……ああ、やっぱり素敵……。これが……。あかりのおまんこを  
可愛がってくれたおちんちん……」

あかり 「ちゅ、じゅる……。っ、ちゅっちゅ……。ふう……。ん……。ちよつとだけ、  
芯ができてきたかなあ……」

あかり 「んふ……。っ……。ちゅ、ちゅぱっ……。ん……。しょっぱいですね、ふふ」

あかり 「じゅるるっ……ん……ちよつとだけ、先走りがでてるかも。

カウパーっておしつこと同じ成分だから、しょっぱいんですって」

あかり 「いやん、あかり、先輩のおしっこ飲んでるのお？」

あかり 「ふふっ、先輩のだったら、なんでもおいしい……。おしっこだって  
ぜーんぶ飲んじゃいますけどお……。ほんと白くてとろとろのザーメンを  
飲みたいの……」

あかり 「んふふ……硬くなってきましたよ？ 竿をシコシコしてえ……あかりの  
お口の中に……」

あかり 「んふ……んんっ……あかり、あんまり上手じゃないかもだけど……」

あかり 「あん、太くなってきた……。よかった、気持ちよくなってくれてる……。  
やん、お口に全部はいらない……」

あかり 「ん……しょっぱいお汁……いっぱい出てきましたあ……」

あかり 「じゅるじゅるっ……。ん……塩分過多ですねえ……これはラーメン……  
とんこつでしようかあ？」

あかり 「あかり、ザーメンソムリエになれるかも。なんてね、ふふっ」

あかり 「おちんぼ、すっかり上を向きましたね。精液、まだ残ってるかなあ」

あかり 「たまたま……まだ、入ってそうですよ？」

あかり 「じゅう……ちゅ、ちゅるっ……。んふっ……。ふふ……たまたま、気持ちいい？」

あかり 「おちんぼつらそう……。これならイケるかも」



あかり 「じゃあ、いっぱい飲ませて下さいね」

あかり 「ふっ、んん……じゅぷっ……じゅぷっ」

あかり 「先輩、腰動かしていいですう……」

あかり 「んふっ……ん、ん、苦し……んふっ」

あかり 「いやあ……やめないで……っ。大丈夫だから、乱暴に喉奥まで突いてえ……っ」

あかり 「ん、んんっ……はあ……っ、じゅる……っ」

あかり 「ん、ん、ん——っ」

あかり 「ん、ぐ……っ、ぐくんっ……」

あかり 「ぐぼっ……ぐぼっ」

あかり 「けほ……っ、大丈夫です。すごい勢いで出るんだもん……

びっくりしちゃった……」

あかり 「でも、全部飲みましたよ？ ほめて下さいっ」

あかり 「ふふ、先輩のザーメン……おいしかった……。けど、塩分は控えめに  
してくださいね。ふふ」

あかり 「さて……次の検査は採血か……。これで最後です」

## トラック6 いっぱい採れたね☆ 採血

### ◆健診センター（採血する部屋）

あかり 「どうぞ。前に座ってください。今日は血液を採取して、おしまいです」

あかり 「あーあ、これで最後……。なんか、さみしいです……」

あかり 「でも、最後はあかりの看護師らしいところ、見せちゃうね。  
こう見えて、採血得意なの。どっちの腕がいいかな？」

あかり 「左ですね。二の腕にくけつたい駆血帯を巻きます。」

あかり 「んしょ。痛くないですか？ 手を握ってください。ふふっ、  
先輩の血管、わかりやすいですね。あ、ふくらんできました。  
では、消毒をして……ふふ、怖がらないでください。あたし上手ですから。  
でも、最初はちくつとしますよ？」

あかり 「血液検査の結果は、ちよつと時間がかかります。送られてくるまで、  
待っててください」

あかり 「ふふ、もちろん、これで終わりませんよ？ あかりと先輩の秘密の採血は  
これからです♡」

あかり 「もうすでに先輩の精液、いーっぱい搾り取っちゃったけど……。  
まだ、イけますよね」

あかり 「じゃあ、秘密の採血、はじめましょうか」

あかり 「あたしの方を向いてください」

あかり 「採血だから、駆血帯がいりますね。包帯でいいかな……」

あかり 「んしょ。おちんちんの根元を、ちよつとだけしばりましたあ。採血ですから」

あかり 「血管が浮き出てくるかなあ？ まだふにやふにやしてるから……、固くしないとね。あたしのおっぱいで、シコシコしてあげます♡」

あかり 「うふふ、おっぱい気持ちいい？ 目がとろんとしてますよっ」

あかり 「ふふ、ちよつと上、向いてきた……」

あかり 「ん、おちんぽ、顔にあたっちゃう。先輩の……長いんだもん……」

あかり 「(パイプリーしながら) ん……どくどくいってますぅ……。めいめいするのは血管……っ」

あかり 「ふふ、いやらしい音がしてきましたね？ 包帯、軽く巻いてただけだから、エッチなお汁でびしょびしょですぅ……」

あかり 「ふふ、おちんちん、苦しそう……。包帯はあ、どうしよつかな。びちゃびちゃだし、とっちゃいましょう」

あかり 「ん。もう、ダメですよ。我慢汁、こんなに出しちゃ……。この中にも精液、混ざってるのに……。もったいないですぅ」

あかり 「じゅるじゅるっ……」

あかり 「ん、おいしい……。こっちのベッドで採血しましょっか」

あかり 「ふふ、仰向けに寝転んでください。楽にしてくださいね」

あかり 「ちくつとしますよー。なんて……」

あかり 「ん……ちく……じゃなくて、じんじんするう……」

あかり 「あん……っ。あたしのおまんこ……先輩のおちんちんをすっかり、  
気に入ってますね、ふふ……。わかります？

動かなくても……吸い付いて、きゅうきゅうするの……  
抱きしめてるみたい……」

あかり 「先輩が辛いだけですわ……。じゃあ、採血はじめまーす♡」

あかり 「あん……、ん……はあっ……先輩のお注射の先っぽ、いいとこ、  
ひっかいちゃう……」

あかり 「ああん……っ……先輩の、また、おつきく……っ」

あかり 「ああんっ！ あかりの中、きゅうきゅうするっ！ 先輩のおちんぽ  
絞ってるみたい……」

あかり 「先輩のいっぱいちょうだい……。っ。精液、子宮にびゆるびゆるかけて  
ほしいのお……」

あかり 「こんなこと初めてえ……。先輩のこと考えてたら、  
おまんこじんじんしちゃって……腰ふっちゃうの……」

あかり 「だって……ずっと、好きだったんだもん……。っ。ほんとにほんとに、  
好きなんだもん！」

あかり 「先輩……っ」

あかり 「ちゅ、じゅるっ……んふっ」

あかり 「先輩のキス……好き……。舌もつとレロレロしてえ……。んふ……」

あかり 「先輩……こうして見下ろされるの初めて……ドキドキしちゃう……」

あかり 「あん……っ……。おまんこからいっぱい、あふれてる……っ。

これ、あたしのエッチなお汁？ それとも先輩の？」

あかり 「あ、あんっ……。あたしと先輩のお汁がまざって……っ

……ぐずぐずなお汁……。とけちゃいそう……」

あかり 「ああんっ、先輩の、もっと奥にお注射してください……っ」

あかり 「やん……っ……。そんな、奥……子宮に響いちゃうっ……」

あかり 「おまんこビクビクして……勝手に先輩のおちんぼ締め付けて……」

あかり 「ああん……そんなに激しくしたら……ダメエ……ッ。

まだ、イキたくないよう……っ」

あかり 「やあ……っ、もう、無理い……っ」

あかり 「先輩……ッ……。一緒にイってえ……っ」

あかり 「たっぷり精液、子宮にかけちゃってください……っ」

あかり 「や……あ、あ、あ——っ」

あかり 「あ、あ……奥、先輩の、いっぱい……っ」

あかり 「あんっ……。すごい……。おまんこ見てください」

あかり 「精液いっぱい採れましたあ……。

やん、あふれてもつたいないよお。あ……そうだ」

あかり 「先輩、そのビーカー取ってもらえますか？」

あかり 「ふふ、どのくらい採れたかなあ？」

あかり 「んんっ……。ビーカーの中、見て見て。こんなにたまりますう……ふふっ」

あかり 「これで、終わりかあ……」

あかり 「ほんと先輩に会えてうれしかったです。

来年の健診のときにはご指名くださいね、なーんて。ふふ」

あかり 「さてと。このあとは受付です。説明もあたしがするから、待ってくださいね」

## トラック7 検査結果は後日にね♡

### ◆健診センター（受付）

あかり 「受付番号二十五番の方、3番カウンターまでお越しください」

あかり 「お疲れさまでした。結果は2週間くらいで届くと思います。

こちら、住所、お間違いないですか？」

あかり 「今日はこれで終わりです。診断結果によっては生活習慣など、指導もしていますから、ぜひご利用ください」

あかり 「でも……あたしと付き合ったら……自宅で指導できますよ？  
もちろん、タダで。しかも……もれなくバランスのとれた食事も  
ついてきます」

あかり 「ふふっ、味は保証します。あと、運動指導もできます」

あかり 「一緒にテニスしたり……。夜もベッドの上で、たっぷりカロリー消費……」

あかり 「お得だと思うんですけど……どう、かな……」

あかり 「え……先輩……付き合ってくれるのっ？」

あかり 「ごめんなさい、先輩。あれ？ 恋人だから……先輩っておかしいか。  
じゃあ……これからは、下の名前で呼ぶ練習しますね。ふふっ」